

5 月号
VOL. 496

土會奈良



SHIKAI

2017 NARA

表紙のことば



(写真1)



(写真2)



(写真3)

四万十川は高知県西部を流れる四国最長の川で、本流に大規模なダムが建設されていないことから日本最後の清流と呼ばれ、名水百選や日本の秘境100選にも選ばれています。(写真1)

この川には沈下橋が多数架設され、本流には22本、支流を含めると47本もあり、周囲の山並みと合わさってのどかな景観を醸し出しています。特に、今成橋(通称 佐田沈下橋)は最下流にある最長の沈下橋で、全長は291.6mあります。(写真2)

流域では、闇夜に松明の火を振り、鮎を定置網に追い込む伝統漁法「火振り漁」が行われています。また、人が集まる場所を「駄場」と呼ばれており、この2つをネーミングにした栗焼酎「ダバダ火振り」がお勧めです。蔵元では、素朴な心を大切に、ひたすら自然を生かした酒造りが行われていて、家づくりやまちづくりにも通じるものがあります。(写真3)

この表紙の構成は「沈下橋」を中心に、水面に反射する清流「四万十」をイメージして写真をあえて逆さまにし、「沈下橋」の先には素朴で自然を生かした酒造り(家づくり・まちづくり)を目指して酒瓶「ダバダ火振り」を配しました。

(写真・文 情報・広報委員会 水守寛敏)

情報・広報委員会

委員長 松尾 憲治

副委員長 折目 貴司 大倉 克之

委員 乾井 哲 水守 寛敏

松村 泰徳 小松原寛俊

崎山 泰正 福西 保夫

福本 保治 藤井 靖彦

宮浦 重彦 福田 成生

Contents

001 青年委員会
近畿青年建築士フォーラム2017

002 桜井支部
興福寺他見学会

004
伝統構法をユネスコ無形文化遺産に！

005 宇陀支部
宇陀松山地区まちづくり勉強会

006 高田支部・天理支部
天理駅前広場空間整備工事合同見学会

007 住まいまちづくり委員会
帯解地域歴史的建造物調査報告会

010 新コーナー
～今月のコラム～
「ゴルフ工房の仕事っぷり」

011 お知らせ
「平成29年度通常総会」の日程他



青年委員会

次世代にむけて集う近畿の青年メンバー

平成29年2月18日(土)、大阪府建築健保会館にて、近畿建築士会協議会青年部会(以下:近建青)主催「近畿青年建築士フォーラム 2017」(担当:研修委員会)を開催しました。



私は、奈良の青年委員会より近建青へ出向させていただき、本フォーラムの担当の研修委員会の委員長を務めさせていただきました。

建築士会の長年の課題である「会員増強」と、建築士として建築士会の未来を担う「次世代育成」について考えることを目的とし開催しました。

フォーラムでは、近畿2府4県の青年建築士が集い、互いの活動を知れて、話し合えて、交流もできる2部制と交流会としました。

第一部では、近畿2府4県の代表者による発表に加えて、「会員増強」に向けた活動で成果を上げている、(一社)神奈川県建築士会の、奈良青年委員長にも発表していただき、近畿以外の地域の活動を知る機会にもなりました。



第二部では、非営利活動法人日本ファシリテーション協会の佐野岳章氏にご協力いただき、意見交換会を行いました。意見交換会では、他府県の会員同士の交流を深める目的で、知り合い、話し合いそして最後には仲良くなるという流れで進めました。それぞれの活動や第一部の内容を踏まえた話題などで、ファシリテーターの合図と同時に参加者間で積極的な話し合いがされていました。その後の交流会も含め、奈良から参加した青年メンバーもすぐに打ち解けて交流を楽しんでおり、いろいろな気づきを奈良に持ち帰り今後の活動に活かしていけるとと思っています。

今回、約120名の参加で、担当委員長としても熱く御礼を申し上げるとともに、今後の奈良県建築士会の発展のためにも、近畿の事業や他ブロックの大会、全国大会などへの、積極的な参加を若い会員の方へ促していただきますよう先輩方にここでお願いさせていただきたく思います。

また、本フォーラムの開催が、奈良県の「会員増強」「次世代育成」に向けた活動躍進のきっかけとなれば幸いです。



最後に、お忙しい中、参加いただいた奈良県青年委員会のメンバーの皆様ありがとうございました。

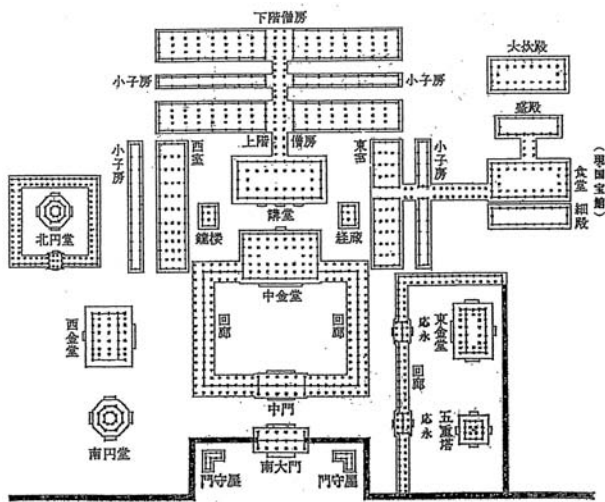
(一社)奈良県建築士会 青年委員会委員
東川正樹(近畿建築士会協議会青年部会 平成28年度研修委員会 委員長)



桜井支部 興福寺 他 見学会

平成29年2月4日(土)、桜井支部の研修会が開催されました。今回の研修会は、参加者13名で、興福寺で復元中の中金堂、依水園庭園及び園内の建物(氷心邸)の見学、杉幸園での昼食を挟んで、志賀直哉旧居を回る見学会となりました。雲一つない晴天の中、移動の散歩も清々しい見学会日和となりました。

最初の見学の興福寺中金堂は、平城京遷都の際、藤原不比等によって建てられたものです。焼失と再建が繰り返され、1717年の7回目の焼失後は再建されずにいましたが、平城京遷都1300年を前に再建計画がスタートし、2008年基壇整備から始まり2018年10月落慶予定の工事です。作業所長の瀧川寺社建築の国樹様より、施工過程での苦労話や納まりについて、また、工夫されている点等、ここでしか聞けない色々な話を他との比較をまじえながら、話してくださいました。



興福寺伽藍復元図

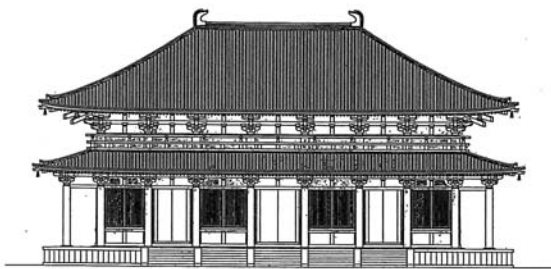


図 1.4.3 南立面図

まず驚いたことは、平成13年の発掘調査で確認された礎石をそのまま使っていることです。その上に建てる36本の

10mの柱には、アフリカ樺のアパ・ドウシェという木が使われています。それは、当時米ヒバが集まらなかったために、苦労して集められたものでしたが、その後輸出禁止になったことで結果として希少な木材が使われることになりました。



また、外壁の漆喰が塗っているように見える部分は、構造上の理由で9cmの厚板がはめ込まれているため、途中に見える束は実は化粧ものだそうです。



大棟の両端につけられる飾りのことを鴟尾(しび)といい、唐招提寺金堂には粘土で作られた当時のままの鴟尾が残っていますが、こちらの鴟尾は鋳物で作られおり、高さが2m3cm、重さが一つで1100kgもあり、その施工方法について、写真を交えて説明がありました。当時は粘土で作られていたものですが、1.2mを超えると粘土で精度を保って作ることは非常に難しく、徐々に鬼瓦に変わっていったようです。

使用された木材の中で、最も長い材料が使われたのは隅木で、15mの材料が使われています。軒先の反りを柱で作る方法がとられており、軒の中心から、2尺2寸の反りが作られていること、また、品質管理で4隅の高さが問題になるが、設計に対して1ミリの誤差で仕上がっていること、木は収縮し、自由に動くが、多少ひねったりしても全体の高さ的には狂わない、その都度チェックし、部分的に削ったりせず、感覚的に納めた方が精度を保てているお話は大変興味深いものでした。

特別に仏様が収まっている内部まで見せていただき、階段の大理石に天川村洞川の大理石が使われており、角石が取れないことから施工上工夫していること等教えていただきました。一言で復元とはいっても、実は今の法規制や耐震上の問題やコスト面をクリアーするため、材料の手配からディテールに及ぶまで目に見えないところでの苦勞がたくさんあることを改めて認識させられました。



依水園では、庭の管理をされている、庭舎の牧岡様から、前庭（江戸時代）と後園（明治時代）の違いを説明していただき、普段は入ることのできない氷心邸に上がって庭の景色を堪能しました。後園は築山式の庭園で、若草山や東大寺南大門をも借景とし、作庭された空間の広がり、そして流れる水音まで場所によって違う演出に感動しました。元々は東大寺の中にあった場所なので、当時の七重の塔の礎石が池の護岸石に残っています。さすがに奥行きが深いですね。牧岡様のきめの細かいお手入れのおかげで四季を通じて素晴らしい景色を楽しむことができます。

最後に志賀直哉旧居では、実際に工事を行った支部長から直々に復元工事の時の写真などを織り交ぜながら、説明



していただきました。このサンルームがあの方々の集まった場所で、近代文学史の一時代を築いた舞台であることを想像すると鳥肌が立ちました。今回見学させていただいたところはまた行ってみようと思うところばかりで、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。



（記・桜井支部 松本賢太郎）



日本建築の匠の技 伝統構法をユネスコ無形文化遺産に！

「ユネスコ」と聞いて『世界遺産』を連想された方は、随分いらっしゃるのではないのでしょうか。『世界遺産』には【文化遺産】【自然遺産】【複合遺産】の3種類があり、建築物など有形の文化財の保護と継承を目的としています。それに対し『無形文化遺産』は、前者ほど認知されていないと感じます。簡単に説明しますと、民俗文化財、フォークロア（古く伝わる風習・伝承など）、口承伝統などの無形のものを対象とし、まさに“生きた遺産”といえるのです。国内に於いては、和食（暮らし）、京都祇園祭の山鉾行事（祭り）、歌舞伎（舞台芸能）などが認定されています。



ご存知の方もおられると思いますが、今回のテーマである伝統構法も認定を受けようとする動きがあります。「伝統木造技術文化遺産準備会」が運動を推進しており、主旨に賛同する伝統木造関係者・文化人・有識者が呼びかけ、多くの個人・企業・団体も参加し、2015年本格的に活動を開始しました。



日本建築の美しい町並みや、原風景を形づくる社寺・数寄屋・民家・町屋などは、大工・屋根葺師・左官・建具・畳・襖・彫り・鋳（かざり）など、連綿と伝えられてきた職人技術により造られています。日本人の暮らしや文化を支えてきた基盤技術こそ、伝統構法なのです！ しかし、日本人の生活様式や価値観の変化、効率至上主義の結果でしょうか、“均質化していく町並み”の定着化は止まる気配はなく、未来への継承は決して易しいものではありません。

では私たちに出来ることはあるのでしょうか？



伝統構法が『無形文化遺産』に登録されれば、国内に留まらず海外からの関心は高まり、価値が見直され建築業界の機運も盛り上がるのではないのでしょうか。「伝統木造技術文化遺産準備会」では、広報活動やPRイベントの開催、国やユネスコに働きかけるための署名活動なども行っています。



私自身、ヘリテージマネージャー（地域の歴史的建造物の専門家）として保全活用に携わる機会も増えつつありますが、地域の歴史・文化を守り、良好な景観の形成など、地域社会への貢献が求められる建築士として、会員の皆様にも伝統構法の『無形文化遺産』登録に向けて応援いただきたいと思います。

※イメージ写真は承諾を得てHPより引用させていただいております

伝統木造技術文化遺産準備会：<http://dentoh-isan.jp/>

（記・高田支部 松村泰徳）



宇陀支部

宇陀松山地区まちづくり勉強会

2月17日午後より宇陀支部は、松山地区伝統建築物群・町並みの勉強会を、宇陀市大宇陀の千軒舎において開催しました。宇陀市教育委員会文化財課のご協力をいただきました。

最初に文化財課の方にスライドを見ながら、松山地区の歴史を伺いました。松山地区は、元々城下町として発展し、城主が変わるたび少しずつ町の形態が変化していきました。

参加者はほとんど詳しいことを知らない状態でした。私自身も何度かこの町並みの修理（改装）に携わった事がありましたが旧隣町の出身でしたので知らないことばかりでした。

説明の後、町並み散策に出掛けました。伝統建築物の町家は、割合間口が広く、入口廻りには竹づくりの犬避け・木製の格子掃き出し窓、下屋には税がありました。残念ながら町並みというには伝統建築の家は数少なくまだらにしかありませんでした。

1キロ程散策していると、薬の館がありました。中に入ると、昔の薬のカンバン等が沢山並べてありました。お話を伺いますと、今の大手薬メーカーが、この町を含め周辺から発祥したそうです。

薬の館を出てから元の方へ引き返し、久保酒造の隠れカフェで、意見交換会を行いました。このカフェは久保酒造の奥に昔の建物を改装して作られていて、過去の建物とが調和していて、ゆったりした空間になっていました。

意見交換の中で私たちが、この街並みを如何に活かしていけるか、これからの支部の課題となりそうです。

（記・小松原寛俊）





高田支部・天理支部

天理駅前広場空間整備工事合同見学会

天理駅前広場空間整備工事「コフフン」合同見学会

高田支部と天理支部は3月22日に初の合同事業として標記の見学会を開催しました。今回はその報告をします。

まず「コフフン」とは何かということから説明しなければなりません。これは天理市長肝煎りのプロジェクトで「天理が育ててきた多くの魅力をまちの元気につなげたい」というコンセプトで生まれました。天理という大きな街への来訪者の起点となるであろう駅前広場がそのステージです。私たちはオープン間近に訪れましたが、誰も目の飛び込むのは真っ白でモニュメンタルないくつかの造形です。



無邪気な子どもならすぐに駆け上り、駆け下りるであろうとても魅力的な遊具とも見えるし、都会の中に突然現れた興味深いモニュメントとして大人の心もつかむでことでしょう。

実際写真で見るとよりその大きさもあり実物はインパクトがあります。私たちの見学会当日も晴天で、春の日差しが白い作品を眩しく照らしていました。春芝と夏芝をブレンドしたという芝生の緑も一年中輝き、「コフフン」を飾ってくれそうです。

「コフフン」はこのモニュメント群の愛称で、それぞれの作品には役割が与えられており、実際に人間がその中に入って楽しむことができます。象徴的な円墳の形をしており大きいものは直径26m。主な構造体はプレキャストコンクリートを鋼線で繋いで作られています。円墳の下がカフェになっていたり、遊具になっていたり、野外ステージとしても利用できそうです。



まちなかに突然現れた思わぬスポットに夢中になる大人もちらほら現れたようです。

思わず「ふふん♪」と微笑んでしまうような



非日常の空間。基本デザインをされたデザインオフィス nendo の佐藤オオキさんはその語感を狙い、英語の「共に」「楽しむ」「喜ぶ」の意味を合わせて CoFuFun と名付けたようです。市民に限らずイベントや野外ステージとして貸し出す予定。音楽や運動だけでなく、文化発信に積極的な天理市ならではのスポットになるのではないかと期待されています。

今回は設計監理をされた株式会社安井建築設計事務所、施工された大和ハウス工業株式会社、施主である天理市まちづくり事業課のみなさまに丁寧なご説明もいただき、満足感のある見学会を開催できました。今後も「コフフン」が街のシンボルとしてみなさまに



愛されてほしいと願う反面、なにぶん共用スペースに突然現れた大きな遊具という側面もあるので種々の危険を回避するため、相応の管理が必要ではないかという意見も多かったです。私たちは建築士としてこのような誇らしい公共の資産を永く安全に使い続けられ、愛されることを願います。

見学会後は説明いただいた方と一緒に懇親会を開催しました。今回の事業は高田支部12名、天理支部13名、会員外2名の計27名の参加でした。ご参加・ご協力いただいたみなさまに厚く御礼申し上げます。

(記・高田支部 吉田泰造)



住まいまちづくり委員会 帯解地域歴史的建造物調査報告会

平成29年3月20日、奈良市山町にある南部会館において、帯解地域歴史的建造物調査報告会が開催された。帯解地域歴史的建造物調査は、平成28年6月～平成29年3月、帯解地域7地区の近世近代の歴史的建造物（主に住宅を対象）を外観からの目視により調査し、概要及び分布図をまとめ、地域住民等へ調査成果を報告する報告会となった。

帯解地域は、奈良市南東部に位置し、上街道と県道51号線が交差する交通の要衝で、かつては宿場が形成されていた。東西に農地が広がり、周りにはのどかな風景を見ることができる。農業振興地域及び市街化調整区域内であり、比較的昔からの町並みを残しており、主たる建物の歴史的建造物は192棟が確認された。また、歴史的建造物だけではなく、比較的新しい建物も伝統的な意匠を継承し景観に貢献していること、主たる建物は建て替えられているが、長屋門や土蔵などの附属屋に歴史的建造物が多く残ることが特徴的であった。



大和棟の主屋と土蔵の歴史的建造物（山村地区）

【調査件数と主たる建物の判別結果】

地 区	A	B	C	D	E	F	G
調査件数（単位：敷地）	83	160	81	87	51	77	42
主たる建物	歴史的建造物	29	44	33	27	24	14
	中間的なもの	7	89	32	12	23	14
	非歴史的建造物	47	89	32	12	23	14
	その他	0	2	0	0	0	1

※A:今市一丁目・帯解、B:今市二丁目・三丁目、C:下山、D:山村、E:窪中、F:田中、G:池田

※総調査件数：551件（単位：敷地）

報告会は、調査を行ったヘリテージマネージャーが、地区毎に写真等も用いながら報告を行った。上街道に面する地区では町家形式の歴史的建造物が残っていたり、街道から離れた地区では囲造りの農家型住宅が多く残るなど、地区の特色も報告された。



各地区の報告の様子

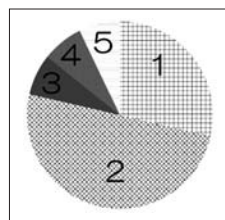
各地区の報告の後は、コーディネーターとして迎えられた奈良女子大学名誉教授 上野邦一氏によるまとめと質問の時間が設けられた。上野氏は帯解地域の成り立ちや、条里制の影響が残ると思われる地区に関して推察した後、報告者7名にそれぞれの地区についての感想と今後に期待することなどの意見を求めた。また、あらかじめ受付けていた住民の方々からの質問に答えた。今回の調査がどのように発展していくのかとの質問もあり、奈良市教育委員会文化財課の担当者も交えて意見交換が行われた。その他、歴史的建造物の耐震性や、改修技術、保存に要する費用についてなどの質問があり、ヘリテージマネージャーが答える場面もあった。



コーディネーターの上野氏と感想を述べるヘリテージマネージャー

本事業では地域文化財の把握を促進し、その成果や分布状況を地域住民に報告・発信することで、地域文化財の認識が進み、まちづくりや地域の活性化に繋がることを期待する。報告会では、住民からの活発な発言もあり自分達の地域に強い愛着を持っていることが感じられた。調査結果を住民に知ってもらい、我々は住民の方の意見を聞くことができる双方向のコミュニケーションの場となる報告会は、重要な意味を持つと思われる。

以下、報告会に参加した地域住民の方々のアンケート結果の集計を記す。



1：とても良かった	29%
2：良かった	50%
3：ふつう	7%
4：あまり良くなかった	7%
5：無回答	7%

〈その他アンケートに記入された意見〉

- ・自分の家に価値があるという気づきがあった
- ・調査は良いことだが実際に維持していくのは難しい
- ・現地でのヒアリングや室内調査も取り入れてほしい
- ・空き家が増えて景観を保つのが難しくなっている
- ・建物を通して地域の成り立ちや歴史が見えるようだった
- ・Uターンで帰ってきたが昔の雰囲気が残っているのがうれしい。

（記・奈良支部 渡邊有佳子）



新コーナー ～今月のコラム～

これまで士会奈良では、支部活動や建築にまつわる専門家のお話を中心にお届けしていますが、“ものづくり”という広範なジャンルにまで裾野を広げると、多様なスペシャリストが存在します。そんな仕事人の、普段なかなか知ることのできない作法や発想を知ることによって、我々の仕事にも何かヒントを与えるかもしれません。そこで今回、ゴルフクラブ職人であり、ゴルフ工房を営む山崎隆氏にお話をうかがいました。

(記・高田支部 松村泰徳)

『ゴルフ工房の仕事っぷり』

ゴルフ工房「オネスト」店主 山崎 隆 皆様、はじめまして。このコラムを読んで頂いている方々の中には、「ゴルフ」を楽しんでいらっしゃる方も多いと思います。その中には、ゴルフをもっと楽しみたい、より上達したいなどの悩みを抱えている方もいらっしゃるでしょう。

私は、そんな多様なゴルファーに応じ、様々な提案をさせて頂いています。今回は、ゴルフクラブを「作る」職人でもある店主として、皆様にゴルフ工房で行われている「技術の仕事」っぷりをご紹介します。

ゴルフ工房の一番の仕事は、ご来店になるゴルファーに、ご希望のクラブをお渡しすることにある、と考えています。クラブには用途別の種類があり、ドライバー、フェアウェイウッド、ユーティリティ、アイアン、ウェッジ、パターがあります。そのため、ご来店になるゴルファーのご要望は、千差万別になります。そのご要望の全てに応える為に、最適な材料を仕入れ確認し、それらの材料を組み合わせ、一本のクラブを作り上げる仕事をしています。それらの材料とは、写真1のように、基本的には3つのパーツ、フェールールを加えると4つから構成されます。グリップは、ゴルファーがクラブを握るところで、材質には天然ゴムなどが使われています。シャフトは、パーツの中で一番長い材料で、スチールやカーボンで作られています。ヘッドは、ボールを打つ部品です。そのため、材料の中で一番の衝撃を受けるため、軟鉄やステンレス、チタンなどで作られています。最後のフェールール(ソケット)は、セルロイド製が多く、シャフトの折れ防止や、シャフトとヘッドの装着部分を隠す為と言われています。

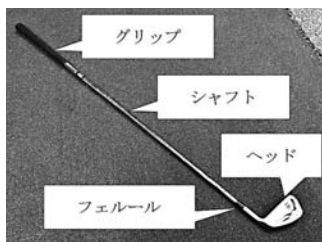


写真1. ゴルフクラブの材料

改めて店主の仕事を簡単にお話すると、これらの材料を揃え、ヘッドとシャフト(+フェールール)を接着固定し、グリップとシャフトを両面テープで密着させる、という工程になります。言葉で言うと、資格も要らないとても簡単な仕事！に思えてきます。しかし、そのような作業だけでは、ゴルファーが望むクラブを作る事はできないのです。

ゴルファーが使うゴルフクラブには規則があり、先述した数種類を組み合わせると、合計14本以下に揃えます(R&AおよびUSGAによる規則)。ゴルファーがプレーする際には、この中から状況に合った最適な1本を選択するわけです。店主の仕事は、この「選択できる」クラブを作る事になります。そのた

めに、ゴルファーに合わせたデータを取り、それに基づいて作業を行います。

家に例えると「基礎」となる5番アイアン～ピッチングウェッジ(PW)の6本を組み立てる場合のお話をします。ここで使う主なパーツは、1本につき、ヘッド、シャフト、グリップの3つで、全部で18個を用意します。選んだ材料が揃うと、まずは重量を正確に測ります。グリップ50g、シャフト95gのパーツを選んだとしましょう。グリップの場合、カタログ値は「50±2g」や「標準重量50g」と記載されており、実重量値と誤差があります。よって、50.0gのグリップが6本揃う事は稀なのです。

シャフトも同様、±2g程度のバラツキがあります。また、シャフトには「番手別設計」と呼ぶ、5番用、6番用と番手によって異なる長さがあります。5番用からPW用まで、長さが0.5インチ短くなっても1本の重量が同じモノや、短くなるにつれて重量が数gずつ重たくなるモノ、番手別の設定が無い為にシャフトをカットして使うモノなどがあります。ヘッドの場合は、5番用、6番用と、それぞれに違いがあり、グリップを装着して仕上がったクラブの長さは、番手(数字)が変わると、0.5インチ短くなります。5番に比べて6番は0.5インチ短く、標準的な5番で38インチのクラブの場合は、PWになると、2.5インチ短くなります。一般的な全体の重量は、5番～PWまでのピッチ(重量差)が7g前後ずつ重くなれば良い、としています。ところが、これが揃いません。その時は、重量を揃える為に、店主が工夫する場面になります。

ゴルファーに合わせつつ、全体のバランスを整える技量と、それを成し遂げる根気が試されます。バランス以外にも、組み立てる際には様々な数値が関係します。シャフトとクラブを組み立てた時に、シャフトの中心線に対するクラブフェースの面の傾きである「ロフト角度」(図1)。これは、面の傾きが5番で平均26度あり、シャフトの長さが短くなるにつれて、傾きが4～5度大きくなります。その他にも、ヘッドを水平に地面に置いた場合のシャフトの傾きである「ライ角度」(図2)、バウンス角度、振動数、フェースプログレッションなどの数値が重要な要素となります。

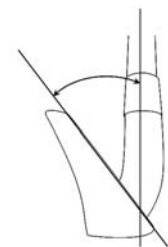


図1. ロフト角度

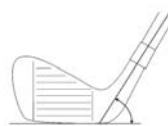


図2. ライ角度

私は、先ず14本の「基礎」となる前述の6本を完成させることが、最重要であると考えています。このバランスを欠くと「基礎」に載る「家」が傾くことになるのです。そのために、写真2のようなクラブを精密に測れる機器を用いて、正確な数値を測り、それぞれのパーツのバランスを合わせる技術と根気で、1本ずつ手作業でクラブを作っています。

しかし数値上は完璧な仕上がりとっても……例えるなら「家」を綿密な



写真2. アングル測定器
(ゴルフギャラージ製)



お知らせ

Information

打ち合わせのもとに造ったとしても……そこに住む人は、そのうちに気に入らない部分が出てくることもあるでしょう。そんな心情という要素もとても大切なもので、時にはゴルファーの変化に寄り添った微調整も、ゴルフ工房の仕事になります。

様々な要望や状況について、完璧な整合はありえないでしょう。ゴルファーが希望するクラブに仕上げる為には、作り手の総合的にまとめ上げるセンスや技量は勿論、ゴルファーそれぞれの腕前に応じた練習や、時には「聞く耳も持っていただけませんか？」とお話するのも、要望に応える大切な要素かと考えています。 ※ゴルフ工房「オネスト」 [http:// honesty.jp/](http://honesty.jp/)

~~~~~

### ●平成29年度建築士試験日程の案内

#### 1 平成29年一級建築士試験日程

|            |                   |
|------------|-------------------|
| 申込書配布      | 4月7日(金)～5月15日(月)  |
| 申込受付       | 5月11日(木)～5月15日(月) |
| 「学科の試験」    | 7月23日(日)          |
| 「学科」合格発表   | 9月5日(火)予定         |
| 「設計製図の試験」  | 10月8日(日)          |
| 「設計製図」合格発表 | 12月21日(木)予定       |

#### 2 平成29年二級建築士試験日程

|            |                   |
|------------|-------------------|
| 申込書配布      | 3月31日(金)～4月24日(月) |
| 申込受付       | 4月20日(木)～4月24日(月) |
| 「学科の試験」    | 7月2日(日)           |
| 「学科」合格発表   | 8月22日(火)予定        |
| 「設計製図の試験」  | 9月10日(日)          |
| 「設計製図」合格発表 | 12月7日(木)予定        |

#### 3 平成29年木造建築士試験日程

|            |                   |
|------------|-------------------|
| 申込書配布      | 3月31日(金)～4月24日(月) |
| 申込受付       | 4月20日(木)～4月24日(月) |
| 「学科の試験」    | 7月23日(日)          |
| 「学科」合格発表   | 9月5日(火)予定         |
| 「設計製図の試験」  | 10月8日(日)          |
| 「設計製図」合格発表 | 12月7日(木)予定        |

~~~~~

新入会員のご紹介 『よろしく』

氏 名	支部	勤務先〒	勤 務 先 住 所	勤 務 先
和田 全 立	高田	639-0234	奈良県香芝市狐井294-4	和田建設
萩 下 雄 介	高田	639-2254	奈良県御所市古瀬525-1	(株)萩下工務店
門 脇 直 也	生駒	543-0001	大阪市天王寺区上本町5丁目7番12号 近鉄北ビル2階	近鉄住宅管理(株)
塚 本 将 貴	奈良	630-8431	奈良市窪之庄町138-1	三共土地建物(株)
北 谷 慶 夫	奈良	541-0056	大阪市中央区久太郎町2-5-28	大末建設(株)
桑 原 正 弘	天理	632-0093	天理市指柳町436番地 建築課事務所	天理教営繕部建築課
小 松 陸 男	天理	630-8301	奈良市高畑町738-2	(株)尾田組
坂 下 大 祐	天理	632-0015	天理市三島町167	坂下建築設計事務所
南 喬	橿原	634-0007	橿原市葛本町835-17	(株)礎建築事務所
久 保 田 知 子	奈良	634-0813	橿原市四条町793-1-E	大林創建
高 山 永 寿	奈良	542-0076	大阪市中央区難波4丁目7番14号難波フロントビル8F	阪急コンストラクション・マネジメント(株)
塩 見 和 弘	奈良	559-8559	大阪市住之江区南港北1丁目7番89号	日立造船(株)
押 部 誠	吉野	638-0812	吉野郡大淀町桧垣本1589	(株)森下組
高 英 太 郎	天理	639-1042	大和郡山田市小泉町671-137-307	
高 山 恵 梨 子	生駒	559-8555	大阪市住之江区南港北1-14-16	大阪府庁
下 山 敬 央	桜井	633-0074	桜井市芝1362	(株)山本工務店
富 田 健 二	橿原	540-0034	大阪市中央区島町2-4-7	(株)安井建築設計事務所

※申込受付については(一社)奈良県建築士会にて行う他に郵送やインターネットでも受付できる場合があります。

※詳細は(公財)建築技術センターのホームページをご覧ください。

●平成29年度通常総会の日程

日 時：平成29年5月19日(金) 17:30～

場 所：奈良県文化会館

議 事：平成28年度事業報告及び決算承認

平成29年度事業計画及び予算承認

事業報告会 18:00～ 懇親会 18:40～

※正会員の皆様は、出欠表を提出いただきますようお願いいたします。なお、残念ながら欠席される場合には、必ず委任状のご返送をお願いいたします。

●平成29年度一級・二級・木造建築士定期講習についてのお知らせ

平成29年度の定期講習は(一社)奈良県建築士事務所協会が受付を行います。

【第2期】講習会日時：平成29年8月23日(水)

場 所：ホテルリガーレ春日野(奈良市)

定 員：60名

受付期間：平成29年6月12日(月)～6月30日(金)

【第3期】講習会日時：平成29年11月29日(水)

場 所：奈良県産業会館(大和高田市)

定 員：100名

受付期間：平成29年9月11日(月)～9月29日(金)

【第4期】講習会日時：平成30年2月21日(水)

場 所：ホテルリガーレ春日野(奈良市)

定 員：60名

受付期間：平成29年12月4日(月)～12月22日(金)

※詳しくはTEL 0742-30-3111までお問い合わせください。

編集後記

仕事のつながりで、月1回程度の飲み会に参加している、京都左官職の友人が、ウクライナ国のキエフに茶室建設の手伝いに、4月から行くことになりました。彼は京都家の左官仕事を主にこなしており、海外での仕事は皆無でしたが、昨年からの話があったそうです。詳しいことは聞けませんが、キエフの某ホテル日本庭園の中に作られる、茶室だそうです。

出発は四月初旬、4月～6月にかけて二度に分けて出張する予定で、持ち物は大型スーツケース2個、一つは通常の旅行用品、もう一つには100種以上の左官コテ他左官用具で一杯となったそうです。酒好きの彼は本場のウオッカが飲めると喜んでいました。そんな中、ロシアの元下院議員が3月23日、白昼にウクライナのキエフ中心部で射殺されました。その影響で予定のホテル周辺が立ち入り禁止区域になり、郊外のホテルから現場への通勤となりそうだと聞いておりました。本稿が読まれている頃は、政情が大きく変わらない限り、毎日ウオッカを楽しみながら左官職に頑張っていると推定されます。

話は変わりますが、又、お酒の話です。先日、建築士会の有志で「日本酒を楽しむ

会」なるものを発足し早速第一回の懇親会が大阪長堀駅近辺のお店で催されました。その日のスナップです。

肴は「おまかせコース」・ホタルイカと春キャベツの酢味噌・前菜盛り合わせ・おつくり盛り合わせ・殻付き焼き牡蠣・泉州鯖の塩焼き・鯛アラの塩焼き・骨付き鶏もも肉と大根の治部煮・へっついさんの釜で炊いた御飯とお味噌汁・漬けもん・手づくりイチゴのアイス。

御酒は102種の日本酒から「季節を彩る、春のお酒」①石川県・「花さかゆうほ」純米吟醸 ～ 「全国の多種多様な地酒」②山形県・磐城寿「山鹿純米 生原酒」③宮城県・日高見「弥助」芳醇辛口 ④山形県・東北泉「へいおまち」純米大吟醸 ⑤山形県・東北泉「色よい返事」純米吟醸 ⑥愛媛県・「石鎚 緑ラベル」純米吟醸 ⑦秋田県・天の戸「美稲（うましね）」と、それぞれに美味しいお酒を楽しみました。

今回はお酒の話に終始し「ヒンシュク」ものですが、これから夏に向かって、美味しいビールの季節、酒飲み人は、何にかこつてやはりお酒ですね。

(記・桜井支部・広報 松尾憲治)

Calendar

2017年5月

- 3(水) ☒ 憲法記念日
- 4(木) ☒ みどりの日
- 5(金) ☒ こどもの日
- 11(木) 一級建築士試験申込対面受付
5/15まで
- 19(金) 平成29年度通常総会
- 30(火) 既存住宅状況調査技術者講習
(移行講習)

Calendar

2017年6月

- 7(水) 第一期定期講習 (奈良県産業会館)
- 14(水) 既存住宅状況調査技術者講習
(移行講習)
- 20(火) 既存住宅状況調査技術者講習
(新規講習)

士會奈良 通巻613号

平成29年5月1日(発行隔月1回1日発行)

発行所 一般社団法人 奈良県建築士会
〒630-8115 奈良市大宮町2丁目5-7 奈良県建築士会館
電話 0742-30-3111 FAX 0742-33-4333
<http://nara-kenchikushikai.or.jp/>
info@nara-kenchikushikai.or.jp

発行責任者 瀧上 徳光
編集 (一社)奈良県建築士会 情報・広報委員会
印刷所 株式会社 明新社

日本で最も多くの1級建築士を輩出し続けている学校です。

※平成24～28年度(過去5年累計)1級建築士設計製図試験 合格者合計19,562名中、当学院受講生10,636名、全国合格者占有率54.4%、平成28年度1級建築士設計製図試験 全国合格者3,673名中、当学院現役受講生1,957名、全国合格者占有率53.3%。

平成28年 1級建築士 設計製図試験

奈良県
合格者占有率

No.1

奈良県 合格者占有率

60.9%

奈良県合格者23名中、当学院現役受講生14名

平成28年 2級建築士 設計製図試験

奈良県 ストレート合格者占有率

46.7%

奈良県ストレート合格者45名中、当学院現役受講生21名

平成29年度
1級・2級建築士
学科対策講座

1/15日・18日
1月開講日
お申し込みは
お早めに!

1級・2級 建築士
1級 管工事施工管理技士
設備設計・設備設計1級建築士

建築設備士

1級・2級 建築施工管理技士
宅地建物取引士

1級・2級 土木施工管理技士
インテリアコーディネーター



総合資格学院

学院長 岸 隆司



総合資格

検索

Facebook「総合資格 市」で検索

スクールサイト

www.shikaku.co.jp

コーポレートサイト

www.sogoshikaku.co.jp

奈良校 TEL.0742-30-1511

奈良県奈良市西大寺栄町3-27 泉谷ビル 4F

近鉄大和西大寺駅北口から徒歩5分